

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

東京外国語大学大学院 総合国際学研究所

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東京外国語大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画課

職名・氏名 カチウ イシダ ヒデキ
課長・石田英貴

電話番号 042-330-5152

（夜間） 042-330-5152

F A X 042-330-5140

e-mail soumu-hyouka@tufs.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査大学等の概要等		
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学の位置	1
(4)	－①②③ 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等		
	総合国際学研究所 言語文化専攻 (博士前期課程)	3
	言語応用専攻 (博士前期課程)	5
	地域国際専攻 (博士前期課程)	7
	国際協力専攻 (博士前期課程)	9
	言語文化専攻 (博士後期課程)	11
	国際社会専攻 (博士後期課程)	13
(4)	－④ 調査対象研究科等の退学者等の状況	15
2	授業科目の概要		
	総合国際学研究所 言語文化専攻 (博士前期課程)	17
	言語応用専攻 (博士前期課程)	29
	地域国際専攻 (博士前期課程)	39
	国際協力専攻 (博士前期課程)	47
	言語文化専攻 (博士後期課程)	53
	国際社会専攻 (博士後期課程)	59
	(内容)		
(1)	授業科目表		
(2)	授業科目数		
(3)	未開講科目		
(4)	廃止科目		
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」		
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合		
3	既設大学等の状況	65
4	教員組織の状況		
	総合国際学研究所 言語文化専攻 (博士前期課程)	67
	言語応用専攻 (博士前期課程)	69
	地域国際専攻 (博士前期課程)	71
	国際協力専攻 (博士前期課程)	73
	言語文化専攻 (博士後期課程)	75
	国際社会専攻 (博士後期課程)	77
5	その他全般的事項	79

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京外国語大学

(2) 大学名

東京外国語大学

(3) 大学の位置

〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 言語文化専攻(博士前期課程)	2年	47人	94人	基礎となる学部: 外国語学部
(修士(言語学) 修士(文学) 修士(学術))				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-) 47人	(-) 47人	0.91倍	
志願者数	(16) 103	(8) 97		
受験者数	(16) 101	(8) 94		
合格者数	(9) 55	(4) 43		
B 入学者数	(9) 51	(3) 35		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.08	(-) 0.74		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		備考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[18] 51	[8] 35	
2年次	[-] -	[18] 50	
計	[18] 51	[26] 85	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究所 言語応用専攻(博士前期課程) (修士(言語学) 修士(学術))	年 2	人 34	人 68	基礎となる学部: 外国語学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) 34	(-) 34	0.99倍	
志願者数	(15) 109	(18) 125		
受験者数	(14) 100	(18) 123		
合格者数	(6) 39	(2) 33		
B 入学者数	(6) 37	(2) 31		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.08	(-) 0.91		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[9] 37	[6] 31	
2年次	[-] -	[8] 24	
計	[9] 37	[14] 55	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 地域・国際専攻(博士前期課程) (修士(国際学) 修士(学術))	2年	37人	74人	基礎となる学部: 外国語学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) 37人	(-) 37人	1.07倍	
志願者数	(7) 84	(4) 93		
受験者数	(7) 81	(4) 92		
合格者数	(5) 48	(3) 43		
B 入学者数	(4) 41	(3) 38		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.10	(-) 1.03		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[11] 41	[13] 38	
2年次	[-] -	[11] 39	
計	[11] 41	[24] 77	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 国際協力専攻(博士前期課程) 〔 修士(国際学) 〕	2年	30人	60人	基礎となる学部: 外国語学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	(-) 30人	(-) 30人	1.00倍	
	志願者数	(3) 51	(4) 66		
	受験者数	(3) 49	(4) 65		
	合格者数	(2) 34	(0) 32		
B	入学者数	(2) 32	(0) 28		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.06	(-) 0.93		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[15] 32	[13] 28	
2年次		[-] -	[15] 27	
計		[15] 32	[28] 55	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 言語文化専攻(博士後期課程) [博士(学術)]	3年	20人	60人	基礎となる研究科: 大学院総合国際学研究科博士前期課程

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) 20人	(-) 20人	(-) 20人	1.28倍	
志願者数	(3) 45	(2) 40	(-) -		
受験者数	(3) 42	(1) 33	(-) -		
合格者数	(3) 30	(1) 21	(-) -		
B 入学者数	(3) 30	(1) 21	(-) -		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.50	(-) 1.05	(-) -		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次	[12] 30	[7] 21	[-] -	
2年次	[-] -	[12] 29	[-] -	
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[12] 30	[19] 50	[-] -	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合国際学研究科 国際社会専攻(博士後期課程) { 博士(学術) }	3年	20人	60人	基礎となる研究科: 大学院総合国際学研究科博士前期課程

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
区分					
A 入学定員	(-) 20人	(-) 20人	(-) -	0.83倍	
志願者数	(2) 26	(-) 27	(-) -		
受験者数	(2) 24	(-) 23	(-) -		
合格者数	(2) 21	(-) 15	(-) -		
B 入学者数	(2) 20	(-) 13	(-) -		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.00	(-) 0.65	(-) -		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年			
1年次	[8] 20	[9] 13	
2年次	[-] -	[7] 19	
3年次	[-] -	[-] -	
計	[8] 20	[16] 32	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 1人	計 [73] 211人	[0%] 0.5 %
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	
	うち平成20年度入学者 一人	うち平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 211人	
	(主な退学理由) 一身上の都合による。		
平成22年度	計 [0] 7人	計 [131] 377人	[0%] 1.9%
	うち平成19年度入学者 一人	平成19年度 一人	
	うち平成20年度入学者 一人	平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 7人	平成21年度 211人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 166人	
(主な退学理由) 一身上の都合による。			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 言語文化専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語・情報学	英語学研究	1・2		2		3	1					科目内容を充実させるため平成21年度より教員を追加(21)
	ドイツ語学研究	1・2		2		1	1					専任教員退職。後任は准教授(21)
	フランス語学研究	1・2		2		2						
	イタリア語学研究	1・2		2			1					
	スペイン語学研究	1・2		2		1	1					
	ポルトガル語学研究	1・2		2		1						
	ロシア語学研究	1・2		2		1	1					
	ポーランド語学研究	1・2		2		1						
	チェコ語学研究	1・2		2			1					
	中国語学研究	1・2		2		2	1					平成21年4月専任教員昇任(21)
	朝鮮語学研究	1・2		2		1	2	1				平成21年4月に専任教員(講師)昇任、平成22年度専任教員(教授)退職(22)
	モンゴル語学研究	1・2		2				1				
インドネシア語学研究	1・2		2			1						

研究コース (個別研究系)	マレーシア語学研究	1・2	2	+	1			専任教員退職により平成21年度は兼任の教員(教授)が担当、平成22年度に専任教員(講師)が担当(22)
	フィリピン語学研究	1・2	2		1			
	タイ語学研究	1・2	2					
	ラオス語学研究	1・2	2	1	+			平成21年4月専任教員昇任(21)
	ベトナム語学研究	未開講 1・2	2	1				平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	カンボジア語学研究	1・2	2		1			
	ビルマ語学研究	1・2	2		1			履修希望者が出たため教員を追加(21)
	ヒンディー語学研究	1・2	2	1				履修希望者が出たため教員を追加(22)
	ウルドゥー語学研究	1・2	2					
	アラビア語学研究	1・2	2	1				
	ペルシア語学研究	1・2	2		1	+		平成22年4月専任教員昇任(22)
	トルコ語学研究	1・2	2		1			
	日本語学研究	1・2	2		1			
	日本語教育学研究	1・2	2	-				専任教員1名退職、1名社会言語学へ振替、後任は兼任教員3名で担当(22)

言語・情報学研究コース（超域研究系）	一般言語学研究	1・2		2		2	-1			平成21年4月専任教員昇任（21）
	記述言語学研究	1・2		2			1			
	社会言語学研究	1・2		2		1				科目内容を充実させるため日本語教育学研究から専任教員を振替（22）
	対照言語学研究	1・2		2		1	2			
	音声学研究	1・2		2		2	-1	-1		平成21年4月専任教員昇任（21）
	外国語教授法研究	1・2		2		2	-1			平成21年度より、科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	言語情報学研究	1・2		2		5	-1	1		科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	未開講									
	ゲルマン比較言語文化研究	1・2		2				1		科目内容を充実させるため教員を追加、ただし履修希望者がいないため平成22年度は開講せず（22）
	ロマンス比較言語文化研究	1・2		2		2				
	スラブ比較言語文化研究	1・2		2						
	東アジア比較言語文化研究	1・2		2						
	東南アジア比較言語文化研究	1・2		2				1		
	未開講									
	南・西アジア比較言語文化研究	1・2		2						平成21年度、22年度履修希望者がいないため未開講（22）
日本比較言語文化研究	1・2		2		2	-1	-1		平成21年4月専任教員昇任（21）	
認知科学研究	1・2		2				1		設置時の要望意見を踏まえ、諸研究領域を広くカバーする授業科目として追加開講（22）	
	英語文学・文化研究	1・2		2		1	-2	1	-1	平成21年4月に専任教員（講師）昇任、履修希望者に併せて平成21年度から教授1名を英語学研究に振替（21）

文学・文化学 研究コース (個別研究系)	ドイツ語文学・文化研究	1・2	2	1 2 1	1 1	1	平成21年4月に専任教員(准教授)が教授に昇任。平成22年度に専任教員(教授)1名が退職、後任(講師)を補充(22)
	フランス語文学・文化研究	1・2	2	1 2	1 2	1	平成21年度に履修希望者がいないため変更したが、平成21年度中に教員(講師)を補充(22)
	イタリア語文学・文化研究	1・2	2	1	1		
	スペイン語文学・文化研究	1・2	2	1 1	1	1	平成21年度に専任教員が死亡したため、後任(講師)を補充(22)
	ポルトガル語文学・文化研究	1・2	2		1		
	ロシア語文学・文化研究	1・2	2	1	1		科目内容を充実させるため教員を追加(21)
	ポーランド語文学・文化研究	1・2	2	1			
	チェコ語文学・文化研究	1・2	2				
	中国語文学・文化研究	1・2	2	1 2			専任教員1名が退職。履修希望者がいないため補充せず(22)
	朝鮮語文学・文化研究	1・2	2				
	モンゴル語文学・文化研究	1・2	2	1			
	インドネシア語文学・文化研究	1・2	2				
	マレーシア語文学・文化研究	1・2	2				
	未開講						
	フィリピン語文学・文化研究	1・2	2				平成21年度、22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
タイ語文学・文化研究	1・2	2	1				
ラオス語文学・文化研究	1・2	2					

	ベトナム語文学・文化研究	1・2	2	1					
	カンボジア語文学・文化研究	1・2	2		1				
	ビルマ語文学・文化研究	1・2	2	1				科目内容の充実のため教員を追加(22)	
	ヒンディー語文学・文化研究	1・2	2	1					
	ウルドゥー語文学・文化研究	1・2	2		2			専任教員1名が退職。履修希望者がいないため補充せず(22)	
	アラビア語文学・文化研究	1・2	2	1				履修希望者が出たため教員を追加(22)	
	ペルシア語文学・文化研究	1・2	2	1	1				
	トルコ語文学・文化研究	1・2	2	1				履修希望者が出たため教員を追加(22)	
	日本語文学・文化研究	1・2	2	2					
文学・文化学研究コース	超域文化研究	1・2	2	3	1			科目内容を充実させるため、教員を追加(22)	
	批評文化研究	1・2	2	2					
	古典文化研究	1・2	2	2					
	表象文化研究	1・2	2	1	2	1		教授1名を超域文化研究に振替え。履修希望者がいないため、准教授1名を担当から削除(22)	
	人類文化研究	1・2	2	1				履修希望者が出たため教員を追加(22)	
	比較文化論研究	1・2	2	1				履修希望者が出たため教員を追加(22)	
	思想文化論研究	1・2 未開講	2	1				通常開講。科目内容の充実のため担当教員を追加(22)	

共通開講 (各 個 言 語)	アフリカンス語	未開講 1・2	1	1						科目内容の充実のため専任教員を追加。ただし、平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	ポーランド語	1・2	1	1						
	チェコ語	1・2	1			1				
	セルビア・クロアチア語	未開講 1・2	1			1				科目内容の充実のため専任教員を追加。ただし、平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	ブルガリア語	1・2 未開講 1・2	1							通常開講(22) 平成21年度は履修希望者がいなかったため未開講(21)
	満州ツングース語	1・2 未開講 1・2	1		1	+				通常開講(22) 平成21年度は履修希望者がいないため未開講、平成21年4月専任教員昇任(21)
	チベット語	1・2 未開講 1・2	1			1				通常開講。履修希望者が出たため担当教員追加(22) 平成21年度は履修希望者がいないため未開講(21)
	上海語	1・2	1							
	広東語	未開講 1・2	1							平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	福建語	未開講 1・2	1							平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	ベンガル語	1・2	1							
	パリー語	未開講 1・2	1							平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	アラビア語	未開講 1・2	1							平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	フィリピン語	未開講 1・2	1							平成21年度、平成22年度は履修希望者がいないため未開講(22)

共通開講 (学術表現演習)	学術中国語演習 中国語学術表現演習	1・2	1						
	学術朝鮮語演習 朝鮮語学術表現演習	1・2	1						
	学術モンゴル語演習 モンゴル語学術表現演習	1・2	1						
	学術インドネシア語演習 インドネシア語学術表現演習	1・2	1						
	学術マレーシア語演習 マレーシア語学術表現演習	1・2	1		1		1		専任教員退職により平成21年度は兼任の教員(教授)が担当、平成22年度は専任教員(講師)が担当(22)
	学術フィリピン語演習 フィリピン語学術表現演習	1・2	1			1			
	学術タイ語演習 タイ語学術表現演習	1・2	1						
	学術ラオス語演習 ラオス語学術表現演習	1・2	1						
	学術ベトナム語演習 ベトナム語学術表現演習	1・2	1						
	学術カンボジア語演習 カンボジア語学術表現演習	1・2	1						
	学術ビルマ語演習 ビルマ語学術表現演習	1・2	1						
	学術ヒンディー語演習 ヒンディー語学術表現演習	1・2	1						
	学術ウルドゥー語演習 ウルドゥー語学術表現演習	1・2	1						
	学術アラビア語演習 アラビア語学術表現演習	1・2	1						
	学術ペルシア語演習 ペルシア語学術表現演習	1・2	1						
	学術トルコ語演習 トルコ語学術表現演習	1・2	1						

	学術日本語演習 日本語学術表現演習	1・2		1							
専門 特殊 研究	専門特殊研究	2		4		4 1	2 8	4			
共 通 科 目	言語文化研究基礎論	1・2		2		2					
	言語文化研究方法論	1・2		2		2					

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
1科目	138科目	0科目	139科目	1科目	139科目 1科目	0科目	140科目	設置時の要望意見を踏まえ、諸研究領域を広くカバーする授業科目として、授業科目の充実を図った。
				[0]	[+1]	[0]	[+1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	なし。					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(所見)
(周知方法)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 言語応用専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本語教育基礎研究	1・2	1	2		1	1					平成21年度履修希望者がいなかったため担当者変更。平成22年度は設置計画どおり実施(22)
	日本語教育実習研究	1・2	1	2		1	2					履修希望者がいないため、平成21年度及び平成22年度で准教授各1名の担当を変更(22)
	異文化理解教育研究	1・2		2			1					
	比較文化論研究	1・2		2								
	日本語教育学臨地研究	1・2		2								
	日本語教育学臨地実習	1・2		1		1	1					履修希望者がいないため変更(21)
	日本語学研究	1・2		2			1	1				履修希望者がいないため変更(21)
	日本語教育学研究	1・2		2			1	2				平成22年4月専任教員1名昇任(22) 履修希望者がいないため1名削減(22)
	外国語教育学研究	1・2		2		5	1					平成21年4月専任教員(准教授)昇任(21) 科目内容の充実のため専任教員(教授)を追加(22)
	対照言語学研究	1・2		2								
	社会言語学研究	1・2		2			1					
	一般言語学研究	1・2		2			1					科目内容の充実のため教員を追加(22)
	音声学研究	1・2		2			2					科目内容の充実のため教員を追加(22)

	言語情報学研究	1・2	2	3 2	1					科目内容の充実のため教員を追加(21)
	日本語表現演習	1・2	1							
日本語教育学専修コース	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2	1							(名称変更理由) 「〇〇学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in 〇〇」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「〇〇 for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術〇〇語演習」とすることとした。
	学術ドイツ語演習 ドイツ語学術表現演習	1・2	1							
	学術フランス語演習 フランス語学術表現演習	1・2	1							
	学術イタリア語演習 イタリア語学術表現演習	1・2	1							
	学術スペイン語演習 スペイン語学術表現演習	1・2	1							
	学術ポルトガル語演習 ポルトガル語学術表現演習	1・2	1							
	学術ロシア語演習 ロシア語学術表現演習	1・2	1							
	学術ポーランド語演習 ポーランド語学術表現演習	1・2	1							
	学術チェコ語演習 チェコ語学術表現演習	1・2	1							
	学術中国語演習 中国語学術表現演習	1・2	1							
	学術朝鮮語演習 朝鮮語学術表現演習	1・2	1							
	学術モンゴル語演習 モンゴル語学術表現演習	1・2	1							
	学術インドネシア語演習 インドネシア語学術表現演習	1・2	1							
	学術マレーシア語演習 マレーシア語学術表現演習	1・2	1							

学術フィリピン語演習 フィリピン語学術表現演習	1・2		1							
学術タイ語演習 タイ語学術表現演習	1・2		1							
学術ラオス語演習 ラオス語学術表現演習	1・2		1							
学術ベトナム語演習 ベトナム語学術表現演習	1・2		1							
学術カンボジア語演習 カンボジア語学術表現演習	1・2		1							
学術ビルマ語演習 ビルマ語学術表現演習	1・2		1							
学術ヒンディー語演習 ヒンディー語学術表現演習	1・2		1							
学術ウルドゥー語演習 ウルドゥー語学術表現演習	1・2		1							
学術アラビア語演習 アラビア語学術表現演習	1・2		1							
学術ペルシア語演習 ペルシア語学術表現演習	1・2		1							
学術トルコ語演習 トルコ語学術表現演習	1・2		1							
学術日本語演習 日本語学術表現演習	1・2		1							
専門特殊研究	2	4			4	7	1			
英語学研究	1・2	1 2	2		5 3 2	1 2				平成21年4月専任教員（准教授）昇任 (21)、 科目内容を充実させるため教員2名追加 (22)
異文化理解教育研究	1・2		2			1				

英語教育学専修コース	比較文化論研究	1・2		2																
	英語教育学臨地研究	1・2		2																
	英語教育学臨地実習	1・2		1		1														
	一般言語学研究	1・2		2		1	1													
	言語情報学研究	1・2		2		1														
	英語表現演習	1・2	2																	
	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2		1																
	専門特殊研究	2	4			4	1													
	通訳理論	1・2	4																	
	英語表現演習	1・2		1																
	日本語表現演習	1・2		1																
	英語逐次通訳演習	1・2	4																	
	英語同時通訳演習	1・2	4			1														
	通訳実務	1・2		2																
	国際協力論研究	1・2		2																
	国際文化論研究	1・2		2																

履修希望者がいなかったため担当2名を「英語学研究」へ振替(21)
科目内容の充実のため担当教員を追加(22)

「〇〇学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in 〇〇」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「〇〇 for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術〇〇語演習」とすることとした。

専任教員昇任及び科目内容充実のため教員を追加(22)

国際コミュニケーション・通訳専修コース	国際関係論研究	1・2		2																
	国際法・機構論研究	1・2		2																
	国際経済論研究	1・2		2																
	環境経済論研究	1・2 未開講 1・2		2																
	金融論研究	1・2		2																
	比較政治論研究	1・2		2																
	比較法制度論研究	1・2		2																
	比較社会論研究	1・2		2																
	比較文化論研究	1・2		2																
	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2	4			1														「〇〇学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in 〇〇」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「〇〇 for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術〇〇語演習」とすることとした。
専門特殊研究	2	4			1															
情報工学	1・2	4			1															
情報学	1・2	4			1															
言語情報学研究	1・2	4			3 2	1 2														
記述言語学研究	1・2			2																
																				平成21年4月専任教員昇任 (21)

	一般言語学研究	1・2	2						
	音声学研究	1・2	2						
	個別研究言語	1・2	2						
言語情報工学専修コース	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2	1						<p>(名称変更理由) 「〇〇学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in 〇〇」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「〇〇 for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術〇〇語演習」とすることとした。</p>
	学術ドイツ語演習 ドイツ語学術表現演習	1・2	1						
	学術フランス語演習 フランス語学術表現演習	1・2	1						
	学術イタリア語演習 イタリア語学術表現演習	1・2	1						
	学術スペイン語演習 スペイン語学術表現演習	1・2	1						
	学術ポルトガル語演習 ポルトガル語学術表現演習	1・2	1						
	学術ロシア語演習 ロシア語学術表現演習	1・2	1						
	学術ポーランド語演習 ポーランド語学術表現演習	1・2	1						
	学術チェコ語演習 チェコ語学術表現演習	1・2	1						
	学術中国語演習 中国語学術表現演習	1・2	1						
	学術朝鮮語演習 朝鮮語学術表現演習	1・2	1						
	学術モンゴル語演習 モンゴル語学術表現演習	1・2	1						
	学術インドネシア語演習 インドネシア語学術表現演習	1・2	1						
	学術マレーシア語演習 マレーシア語学術表現演習	1・2	1						

学術フィリピン語演習 フィリピン語学術表現演習	1・2		1							
学術タイ語演習 タイ語学術表現演習	1・2		1							
学術ラオス語演習 ラオス語学術表現演習	1・2		1							
学術ベトナム語演習 ベトナム語学術表現演習	1・2		1							
学術カンボジア語演習 カンボジア語学術表現演習	1・2		1							
学術ビルマ語演習 ビルマ語学術表現演習	1・2		1							
学術ヒンディー語演習 ヒンディー語学術表現演習	1・2		1							
学術ウルドゥー語演習 ウルドゥー語学術表現演習	1・2		1							
学術アラビア語演習 アラビア語学術表現演習	1・2		1							
学術ペルシア語演習 ペルシア語学術表現演習	1・2		1							
学術トルコ語演習 トルコ語学術表現演習	1・2		1							
学術日本語演習 日本語学術表現演習	1・2		1							
専門特殊研究	2	4			9 4	1 2				専任教員昇任。指導の充実のため、担当者を追加(22)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
15科目	90科目	0科目	105科目	15科目	90科目	0科目	105科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(所見) (周知方法)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究科 地域・国際専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	地域・国際研究基礎論	1・2		2								
	地域・国際研究方法論	1・2		2								
	地域研究自立研究方法論	1・2		2								
	東アジア・東南アジア歴史文化論	1・2		2		8	2	1				科目内容を充実させるため教員を追加(21)
	東アジア・東南アジア政治経済論	1・2		2		2	1					履修希望者がいなかったため教員を変更(21)
	南アジア・中東・アフリカ歴史文化論	1・2		2		6						
	南アジア・中東・アフリカ政治経済論	1・2		2			2					専任教員退職分を准教授で補充(21) 履修希望が出たため教員を追加(22)
	ヨーロッパ歴史文化論	1・2		2		6	1					平成21年4月専任教員(准教授2名)昇任及び専任教員(教授)死亡(21)
	ヨーロッパ政治経済論	1・2		2				1				平成21年4月に専任教員昇任(21)
	アメリカ歴史文化論	1・2		2		2						教授1名をアメリカ政治経済論へ振り替え(21)
	アメリカ政治経済論	1・2		2		1	1					科目内容を充実させるため教員を追加(21)
	日本歴史文化論	1・2		2		2						

	日本政治経済論	1・2	2		1			
地域 研究 コース	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2	1					<p>(名称変更理由) 平成21年度から「○○学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in ○○」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「○○ for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術○○語演習」とすることとした。(22)</p>
	学術ドイツ語演習 ドイツ語学術表現演習	1・2	1					
	学術フランス語演習 フランス語学術表現演習	1・2	1					
	学術イタリア語演習 イタリア語学術表現演習	1・2	1					
	学術スペイン語演習 スペイン語学術表現演習	1・2	1					
	学術ポルトガル語演習 ポルトガル語学術表現演習	1・2	1					
	学術ロシア語演習 ロシア語学術表現演習	1・2	1					
	学術ポーランド語演習 ポーランド語学術表現演習	1・2	1					
	学術チェコ語演習 チェコ語学術表現演習	1・2	1					
	学術中国語演習 中国語学術表現演習	1・2	1					
	学術朝鮮語演習 朝鮮語学術表現演習	1・2	1					
	学術モンゴル語演習 モンゴル語学術表現演習	1・2	1					
	学術インドネシア語演習 インドネシア語学術表現演習	1・2	1					
	学術マレーシア語演習 マレーシア語学術表現演習	1・2	1					
	学術フィリピン語演習 フィリピン語学術表現演習	1・2	1					

学術タイ語演習 タイ語学術表現演習	1・2		1						
学術ラオス語演習 ラオス語学術表現演習	1・2		1						
学術ベトナム語演習 ベトナム語学術表現演習	1・2		1						
学術カンボジア語演習 カンボジア語学術表現演習	1・2		1						
学術ビルマ語演習 ビルマ語学術表現演習	1・2		1						
学術ヒンディー語演習 ヒンディー語学術表現演習	1・2		1		1				
学術ウルドゥー語演習 ウルドゥー語学術表現演習	1・2		1						
学術アラビア語演習 アラビア語学術表現演習	1・2		1						
学術ペルシア語演習 ペルシア語学術表現演習	1・2		1						
学術トルコ語演習 トルコ語学術表現演習	1・2		1						
学術日本語演習 日本語学術表現演習	1・2		1						
専門特殊研究	1・2	8			29	9			
地域・国際研究基礎論	1・2		2						
地域・国際研究方法論	1・2		2						
地域研究自立研究方法論	1・2		2						

比較政治論研究	1・2	2	2	1		教員を科目内容を充実させるため追加 (21)
比較経済論研究	1・2	2	1	➔		平成21年4月専任教員昇任 (21)
比較社会論研究	1・2	2	3 ➔	➔		科目内容を充実させるため教員(教授)を追加、平成21年4月専任教員(准教授)昇任 (21)
比較法体制論研究	1・2	2				
国際協力論研究	1・2	2				
国際関係論研究	1・2	2				
国際法・機構論研究	1・2	2				
国際経済論研究	1・2	2		1		
国際文化論研究	1・2	2	1			
グローバルスタディーズ	1・2	2	2 ➔	➔		平成22年4月専任教員昇任 (22)
メディア文化研究	1・2	2	2			
比較文化論研究	1・2	2	2			
	1・2					
思想文化論研究	1・2 未開講	2	1			通常開講。履修希望者が出たため教員を追加(22) 履修希望者がいなかったため未開講(21)
社会文化研究	1・2	2				
人間文化研究	1・2	2	3	3		
アーカイブス研究	1・2	2				

国際社会コース	学術英語演習 英語学術表現演習	1・2	1								(名称変更理由) 平成21年度から「〇〇学術表現演習」の英語名称は、「Academic Presentation in 〇〇」であったが、この科目名称では、プレゼンテーションに特化した授業内容であると海外の他大学や外国人教員から誤解を招きやすく、留学の際等の成績証明書の表記としてもより適切な科目名称とする必要があるとの結論に達し、時事や通訳・翻訳、アカデミックライティング等を行っている実情に即して、「〇〇 for Academic Purposes」に変更することとし、これに合わせて、日本語名称も「学術〇〇語演習」とすることとした。(22)
	学術ドイツ語演習 ドイツ語学術表現演習	1・2	1								
	学術フランス語演習 フランス語学術表現演習	1・2	1								
	学術イタリア語演習 イタリア語学術表現演習	1・2	1								
	学術スペイン語演習 スペイン語学術表現演習	1・2	1								
	学術ポルトガル語演習 ポルトガル語学術表現演習	1・2	1								
	学術ロシア語演習 ロシア語学術表現演習	1・2	1								
	学術ポーランド語演習 ポーランド語学術表現演習	1・2	1								
	学術チェコ語演習 チェコ語学術表現演習	1・2	1								
	学術中国語演習 中国語学術表現演習	1・2	1								
	学術朝鮮語演習 朝鮮語学術表現演習	1・2	1								
	学術モンゴル語演習 モンゴル語学術表現演習	1・2	1								
	学術インドネシア語演習 インドネシア語学術表現演習	1・2	1								
	学術マレーシア語演習 マレーシア語学術表現演習	1・2	1								
	学術フィリピン語演習 フィリピン語学術表現演習	1・2	1								
	学術タイ語演習 タイ語学術表現演習	1・2	1								

学術ラオス語演習 ラオス語学術表現演習	1・2		1							
学術ベトナム語演習 ベトナム語学術表現演習	1・2		1							
学術カンボジア語演習 カンボジア語学術表現演習	1・2		1							
学術ビルマ語演習 ビルマ語学術表現演習	1・2		1							
学術ヒンディー語演習 ヒンディー語学術表現演習	1・2		1		1					
学術ウルドゥー語演習 ウルドゥー語学術表現演習	1・2		1							
学術アラビア語演習 アラビア語学術表現演習	1・2		1							
学術ペルシア語演習 ペルシア語学術表現演習	1・2		1							
学術トルコ語演習 トルコ語学術表現演習	1・2		1							
学術日本語演習 日本語学術表現演習	1・2		1							
専門特殊研究	1・2	8			10	7				

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
2科目	84科目	0科目	86科目	2科目	84科目	0科目	86科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	なし					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究科 国際協力専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
国際 協力 専修 コース	国際協力論研究	1・2		2								
	国際文化論研究	1・2		2								
	国際関係論研究	1・2		2		2	1					科目内容を充実させるため教員を追加 (21)
	国際法・機構論研究	1・2		2		1	1					
	国際経済論研究	1・2		2		2	3 +					科目内容を充実させるため教員を追加 (22)
	グローバルスタディーズ	1・2		2								
	環境経済論研究	1・2		2			+					通常開講。専任教員が任期切れにより兼任として担当 (22) 履修希望者がいないため未開講 (21)
	金融論研究	1・2 未開講 1・2		2								通常開講 (22) 履修希望者がいなかったため未開講 (21)
	比較政治論研究	1・2		2								
	比較法制度論研究	1・2		2			1					
	比較社会論研究	1・2		2		3 +	+					科目内容を充実させるため教員を追加 (21)
比較文化論研究	1・2		2									

	臨地実践演習 I	1・2		2		2						設置時の要望意見を踏まえ、諸研究領域を広くカバーする授業科目として、新たに実践的な科目を開設し、授業科目の充実を図った。(22)
	臨地実践演習 II	1・2		2		2						
	専門特殊研究	2	4			5 -4	6	-1				平成22年4月専任教員昇任(22)
平和構築・紛争予防(PCS)専修コース	PCS Seminar I	1	4			-1	1					履修者に合わせて担当教員変更(22)
	PCS Seminar II	1	4			1						
	PCS Seminar III	2	2			1						
	PCS Seminar IV	2	2			1						
	Research Methodology in PCS	1・2		2		1						
	Peace Studies	1・2		2								
	International Relations	1・2		2			1					
	International Law & Cooperation	未開講 1・2		2								履修希望者がいないため未開講(21)(22)
	Peace-building	1・2		2		-1			-1			より実践的な内容を教授するため担当教員変更(21) 担当教員退職により、兼任の教員に担当教員変更(22)
	Crisis Management	1・2		2								
	Global Studies	1・2		2		1						
	Peace and Conflict in Japan and North-East Asia	1・2 未開講		2								
Peace and Conflict in Asia	1・2		2								履修希望者がいないため未開講(22)	

Peace and Conflict in Middle East	1・2	2	1						
	1・2 未開講								
Peace and Conflict in Europe	1・2	2		+					通常開講。担当教員の退職により兼任の教員が担当(22) 平成21年度は履修希望者がいなかったため未開講(21)
	未開講								
Peace and Conflict in Africa	1・2	2				1			平成21・22年度は履修希望者がいないため未開講(22)
	未開講								
Peace and Conflict in Americans	1・2	2							履修希望者がいないため未開講(22)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
5科目	25科目	0科目	30科目	5科目	27科目 2科目	0科目	32科目	設置時の要望意見を踏まえ、諸研究領域を広くカバーする授業科目として、新たに実践的な科目「臨地実践演習Ⅰ・Ⅱ」を開設し、授業科目の充実を図った。
				[0]	[+2]	[0]	[+2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	なし					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(所見) (周知方法)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究科 言語文化専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	言語基礎論	3・4・5		2		7 6	1					科目内容を充実させるため追加(21)
	言語教育論	3・4・5		2		7 2	1 2					履修希望者がいなかったため担当教員(准教授)変更(21) 科目内容を充実するために教員(教授)を追加、平成22年4月専任教員が昇任(22)
	言語教育学自立研究	3・4・5		2		2 1	1					平成21年4月専任教員昇任(21)
	対照言語論	3・4・5		2		1 2	2					平成21年度及び平成22年度 履修希望者がいないため担当変更(22)
	比較言語文化論	3・4・5		2		3 1	1 2					科目内容を充実させるため教員(教授)を追加(21)
	イギリス言語論	3・4・5		2		3 1	1					科目内容を充実させるため教員を追加(21) 科目内容を充実させるため教員を追加(22)
	イギリス言語文化論	3・4・5		2		1 0	1					履修希望者がいなかったためイギリス言語論に教員振替(21) 平成22年度は設置計画どおり開講(22)
	ドイツ言語論	3・4・5		2		1 2	1					専任教員退職。後任は准教授(21)
	ドイツ言語文化論	3・4・5		2		1 2	1					平成21年4月専任教員昇任(21) 専任教員退職、履修希望者がいないため平成22年度は補充せず(22)
	フランス言語論	3・4・5		2		2						
	フランス言語文化論	3・4・5		2		1 2	1					専任教員退職(21)
	イタリア言語論	未開講 3・4・5		2		1	1					履修希望者がいなかったため未開講(21)、 科目内容の充実のため担当教員変更、履修希望者がいないため未開講(22)

専 攻 科 目	イタリア言語文化論	3・4・5	2	1			
	スペイン言語論	3・4・5	2	1			
	スペイン言語文化論	3・4・5	2	1	1		専任教員死亡により准教授が担当 (21)
	ポルトガル言語論	3・4・5	2	1			
	ポルトガル言語文化論	3・4・5	2		1		
	スラブ言語論	3・4・5	2	1			
					2		
					1		
	スラブ言語文化論	3・4・5	2	2	1		履修希望者がいなかったため担当者 変更(21) 科目内容の充実のため、教員を追加 (22)
	アメリカ言語論	3・4・5	2		1		
		3・4・5 未開講					
	アメリカ言語文化論	3・4・5	2	1	1		専任教員退職。後任は准教授(22) 履修希望者がいなかったため未開講 (21)
		3・4・5 未開講					
	ラテン・アメリカ言語文化論	3・4・5	2		1		通常開講(22) 履修希望者がいなかったため未開講 (21)
		未開講					
	オセアニア言語文化論	3・4・5	2	1			履修希望者がいないため未開講(22)
	アフリカ言語論	3・4・5	2	1			
	3・4・5 未開講						
アフリカ言語文化論	3・4・5	2	1	1		履修希望者がいなかったため未開講 (21) 履修希望者に合わせて担当教員を変 更(22)	
中国言語論	3・4・5	2	1	1		専任教員退職(21)	
	未開講						
中国言語文化論	3・4・5	2		1		履修希望者がいなかったため未開講 (21) 履修希望者がいないため未開講(22)	

	朝鮮言語論	3・4・5	2		1	2	3			専任教員退職、後任は准教授(22)
	朝鮮言語文化論	未開講 3・4・5	2		1		1			履修希望者がいなかったため未開講(21) 専任教員退職、後任は准教授。履修希望者がいなかったため未開講(22)
	モンゴル言語文化論	3・4・5	2		1					
	東南アジア言語論	3・4・5	2		1	2	2			
	東南アジア言語文化論	3・4・5	2		1	1				履修希望者がいなかったため、担当者変更(21) 科目内容を充実させるため教員を追加(22)
	南アジア言語論	未開講 3・4・5	2		1		1			履修希望者がいなかったため未開講(21) 科目内容の充実のため担当教員を変更、履修希望者がいないため引き続き未開講(22)
	南アジア言語文化論	3・4・5	2		1					
	中東言語論	3・4・5 未開講 3・4・5	2		1		1			履修希望者がいないため未開講(21) 履修希望者に合わせて担当教員を変更(22)
	中東言語文化論	3・4・5	2		1		1			科目内容を充実させるため追加(22)
	日本言語論	3・4・5	2		1		1			
	日本言語文化論	3・4・5	2		2					
共通科目	多分野交流研究	3・4・5	2		1					
	地域研究臨地教育	3・4・5	2		1					
	地域研究自立研究	3・4・5	2		1					
	アーカイブズ論	3・4・5	2		0	1				専任教員担当振替により兼任の教員(教授)が担当(21)
	記号論	3・4・5 未開講 3・4・5	2		0	1				通常開講(22) 履修希望者がいなかったため未開講(21)

認知科学論	3・4・5	2								
思想文化論	3・4・5	2								
国際文化論	3・4・5	2								
文化人類学	3・4・5	2		2	1					

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0科目	47科目	0科目	47科目	0科目	47科目	0科目	47科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし。					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(所見)
(周知方法)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<総合国際学研究所 国際社会専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国際協力論	3・4・5		2		2	3	1				平成21年度に履修希望者がいないため教員を変更（21）
	国際関係論	3・4・5		2		3	2					平成21年度に科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	グローバルスタディーズ特論	3・4・5		2		2	1	1				平成21年度は履修希望者がいなかったため教員を変更（21） 平成22年度は履修希望が出たため教員（教授）を追加、専任教員（准教授）が昇任（22）
	比較政治論	3・4・5		2		1		1				平成21年度に科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	比較社会論	3・4・5		2		3	2	1				平成21年4月専任教員昇任（21）
	比較教育論	3・4・5		2				1				
	国際経済論	3・4・5		2				2	1			平成21年度に科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	国際機構論	3・4・5		2			1					
	ヨーロッパ歴史文化論Ⅰ	3・4・5		2			1	1				平成21年度に科目内容を充実させるため教員を追加（21）
	ヨーロッパ政治経済論Ⅰ	3・4・5						1				
	ヨーロッパ歴史文化論Ⅱ	3・4・5		2			1	1				平成21年4月専任教員（准教授）昇任（21）
	ヨーロッパ政治経済論Ⅱ	未開講 3・4・5		2				1				平成21・22年度は履修希望者がいないため未開講（22）
	ヨーロッパ歴史文化論Ⅲ	3・4・5		2		2	1	1				平成21年4月専任教員昇任（21）

専 攻 科 目	ヨーロッパ政治経済論Ⅲ	3・4・5	2	1	→	平成21年4月専任教員昇任 (21)	
		3・4・5 未開講					
	アメリカ歴史文化論	3・4・5	2	1		平成21年度は履修希望者がいなかったため未開講(21) 通常開講(22)	
	アメリカ政治経済論	3・4・5	2	1			
	ラテン・アメリカ歴史文化論	3・4・5	2	1			
	ラテン・アメリカ政治経済論	3・4・5	2	→	1	平成21年度に専任教員(教授)が退職。後任として准教授が担当(21)	
		未開講					
	オセアニア歴史文化論	3・4・5	2	1		平成21・22年度は履修希望者がいないため未開講(22)	
		未開講					
	オセアニア政治経済論	3・4・5	2	1		平成21・22年度は履修希望者がいないため未開講(22)	
	アフリカ歴史文化論	3・4・5	2	1	→	1	平成21年度に担当教員(准教授)を変更(21)
	アフリカ政治経済論	3・4・5	2	→	1		平成21年度より専任教員退職により准教授が担当(21)
	アジア歴史文化論Ⅰ	3・4・5	2	4			
	アジア政治経済論Ⅰ	3・4・5	2	2			
	アジア歴史文化論Ⅱ	3・4・5	2	7	←	1	科目内容を充実させるために教員を追加(22)
	アジア政治経済論Ⅱ	3・4・5	2	→	→	2	平成21年度から専任教員退職により准教授が担当(21)
アジア歴史文化論Ⅲ	3・4・5	2	7	→	→	平成21年度に科目内容を充実させるため教員を追加(21)	
	未開講						
アジア政治経済論Ⅲ	3・4・5	2	3			平成21・22年度は履修希望者がいないため未開講(22)	

	日本歴史文化論	3・4・5	2		1				
	日本政治経済論	3・4・5	2		1	1			
共 通 科 目	多分野交流研究	3・4・5	2						
	地域研究臨地教育	3・4・5	2						
	地域研究自立研究	3・4・5	2						
	アーカイブス論	3・4・5	2						
	記号論	3・4・5	2						
	認知科学論	3・4・5	2			1			
	思想文化論	3・4・5	2		2	+			平成21年度に履修希望者が出たため追加(21)
	国際文化論	3・4・5	2		1				
文化人類学	3・4・5	2		2	+	1		平成21年度に科目内容を充実させるため追加(21)	

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0科目	39科目	0科目	39科目	0科目	39科目	0科目	39科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	なし					

- (注)・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	東京外国語大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	取 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
外国語学部									
欧米第一課程	4	130	3年次 20	560	学士 (言語・地域文化)	1.04	平成7年	東京都府中市	
欧米第二課程	4	190	—	760	学士 (言語・地域文化)	1.03	平成7年	東京都府中市	
ロシア・東欧課程	4	100	—	400	学士 (言語・地域文化)	1.06	平成7年	東京都府中市	
東アジア課程	4	105	3年次 10	440	学士 (言語・地域文化)	1.05	平成7年	東京都府中市	
東南アジア課程	4	100	—	400	学士 (言語・地域文化)	1.15	平成7年	東京都府中市	
南・西アジア課程	4	75	—	300	学士 (言語・地域文化)	1.14	平成7年	東京都府中市	
日本課程	4	45	—	180	学士 (言語・地域文化)	1.03	平成7年	東京都府中市	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<総合国際学研究所 言語文化専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
69	4	73	0	83	5	88	0	
(67)	(2)	(69)	(0)	[+14]	[+1]	[+15]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

4 教員組織の状況

<総合国際学研究所 言語応用専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
18	1	19	0	21	0	21	0	
(17)	(1)	(18)	(0)	[+3]	[Δ1]	[+2]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：Δ1）

4 教員組織の状況

<総合国際学研究科 地域・国際専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
55	0	55	0	56	0	56	0	
(51)	(0)	(51)	(0)	[+1]	[0]	[+1]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

4 教員組織の状況

<総合国際学研究科 国際協力専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12	1	13	0	19	1	20	0	
(13)	(1)	(14)	(0)	[+7]	[0]	[+7]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

4 教員組織の状況

<総合国際学研究所 言語文化専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
60	0	60	0	65	0	65	0	
(58)	(0)	(58)	(0)	[+5]	[0]	[+5]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

4 教員組織の状況

<総合国際学研究科 国際社会専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
61	0	61	0	68	0	68	0	
(66)	(0)	(66)	(0)	[+7]	[0]	[+7]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

<総合国際学研究科>

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 5月 17日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/outline/public_info/)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 5月 17日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/outline/public_info/)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AG報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。